

講演者プロフィール

○定保 英弥（さだやす ひでや）氏

代表取締役社長帝国ホテル東京総支配人

昭和 36 年 7 月 6 日東京生まれ。

神奈川県立鎌倉高校から学習院大学経済学部経済学科に入学。昭和 59 年卒業後株式会社帝国ホテルに入社。営業部長などを歴任し、平成 20 年に帝国ホテル東京副総支配人兼ホテル事業統括部長、同 21 年取締役常務執行役員帝国ホテル東京総支配人、同 24 年専務取締役専務執行役員帝国ホテル東京総支配人、翌平成 25 年 4 月、代表取締役社長帝国ホテル東京総支配人に就任、現在に至る。

○松原 光代（まつばら みつよ）氏

学習院大学経済経営研究所客員所員 東京大学社会科学研究所学術支援専門職員

東京ガス株式会社を経て、2010 年学習院大学経済学研究科博士後期課程修了。博士（経済学）。2010 年 7 月～2012 年 3 月まで東京大学社会科学研究所特任研究員を務め、株式会社東レ経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス推進部主任研究員を経て、2014 年 5 月より現職。専門は労働経済、女性労働、人的資源管理。

主な論文として「短時間正社員制度の長期利用がキャリアに及ぼす影響」（『日本労働研究雑誌』2012 年 10 月号）。著書として『ワーク・ライフ・バランス支援の課題』（編著、東京大学出版会）など。2010 年 7 月に日本労務学会賞研究奨励賞（『ワーク・ライフ・バランスが実現できる職場要因の検討－管理職と部下による業務遂行過程の合意の重要性－』）

○篠崎 武久（しのざき たけひさ）氏

早稲田大学理工学術院創造理工学部教授 学習院大学経済経営研究所客員所員

学習院大学大学院経済学研究科専攻博士後期課程単位取得満期退学。

東京大学社会科学研究所助手、早稲田大学理工学部専任講師を経て、現職。主な著書、論文として仁田道夫・篠崎武久（2008）、「労働組合の賃金効果の検証」、谷岡一郎・仁田道夫・岩井紀子（編）、『日本人の意識と行動』第 6 章、pp. 121-133、東京大学出版会、Mamiko ISHIHARA and Takehisa SHINOZAKI（2005）, “Why Part-time Workers Do Not Accept a Wage Gap with Regular Workers,” Japan Labor Review, vol. 2, no. 2, pp. 55-77. などがある。第 4 回労働関係論文優秀賞 受賞

○西岡 由美（にしおか ゆみ）氏

立正大学経営学部准教授 学習院大学経済経営研究所客員所員

2003 年、学習院大学大学院経営学研究科博士後期課程（経営学専攻）単位取得退学。湘北短期大学総合ビジネス学科助手、専任講師を経て、2010 年より立正大学経営学部専任講師。2012 年より同准教授。

主な著者に、学習院大学経済経営研究所編『経営戦略としてのワーク・ライフ・バランス』（学習院大学経済経営研究所編、第一法規出版、2008 年）、『ワーク・ライフ・バランス推進マニュアル』（学習院大学経済経営研究所編、第一法規、2010 年）などがある。専門は人的資源管理論。

○今野 浩一郎（いまの こういちろう）氏

学習院大学経済学部教授

1946 年東京に生まれる。1973 年東京工業大学大学院理工学研究科（経営工学専攻）修士課程修了。神奈川大学工学部助手、東京学芸大学教育学部助教授等を経て、1992 年より学習院大学経済学部教授。

著書は『勝ち抜く賃金改革－日本型仕事給のすすめ－』、『人事管理入門』、『正社員消滅時代の人事改革』（日本経済新聞出版）など。